

南海トラフ地震 理論上最大モデルの被害想定

地震発生後から、浸水深 30cm に到達するまでの時間を示した図です。30cm 以上の水深があると、歩いて避難するのが難しくなります。また、避難の準備ができて家を出るのに必要な所要時間の目安は 15 分ほどかかります。

※このマップは雨や台風による浸水被害を示すものではなく、堤防の破堤によって川の水が流れ込むことによる浸水被害を示したマップです。

最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域です。この区域は、住民等が平常時には通常の生活や社会経済活動を営みつつ、いざという時には津波から「逃げる」ことができるように指定する区域で、建築物の建築や開発行為が制限されるものではありません。

基準水位は、津波浸水想定における浸水深に、建築物等への衝突による津波の水位上昇を考慮して認められる値を加えて定める水位です。基準水位は津波に対して適切な避難高さであるため、避難施設等の効率性の整備の目安となります。なお、基準水位は、津波浸水想定における浸水深と同様に地盤面からの高さ（水深）で表示します。

また、建築物等に衝突する津波の水位上昇をせき上といいます。

災害のため自宅等に住めなくなったときに、一定期間滞在する小中学校などの公共施設です。

指定緊急避難場所 List of designated urgent evacuation area

緊急避難場所 List of evacuation area

官公庁施設

List of government office facilities

地震が発生したとき、家族が同じ場所にいるとは限りません。
このマップを利用して自宅、勤務先、学校から最も近い避難場所
を確認しておきましょう。

また、地震はいつ発生するかわかりません。夜間や大雨の日に地震が発生すれば、避難場所までの道がわからないかもしれません。家族で決めた避難場所へ行く途中に、危険な場所・注意しなければならない場所がないか確認し、このマップに書き込んでみましょう。

 指定避難所
Designated evacuation shelter

-  **乳幼児優先避難所**
(Infants and young children priority evacuation shelter)
 -  **指定緊急避難場所**
(Designated urgent evacuation area)
(Nursery evacuation building)
 -  **緊急避難場所**
(緊急避難所)
(Designated urgent evacuation area)
(Nursery evacuation building)
 -  **指定緊急避難場所**
(指定緊急避難所)
(Large-scale fire area)
(Designated urgent evacuation area)
(Large-scale fire area)
 -  **1 指定避難所**
(Designated evacuation shelter)
 -  **1 指定緊急避難場所**
(Designated urgent evacuation area)
 -  **1 緊急避難場所**
(Urgent evacuation area)
 -  **救護隊本部活動拠点**
(Relief corps headquarters)
 -  **災害ボランティアセンター**
(Disaster volunteer center)
 -  **災害時医療救護所**
(Disaster medical relief shelter)
 -  **署江口防災倉庫**
(Kamiguchi disaster prevention warehouse)
 -  **避難に適した建物**
(Building suitable for evacuation)
 -  **アンダーパス**
(Underpass)

 小・中学校、希望の丘広場、観光交流センターには、夜間や休日など施錠されている場合、上へ避難することができるよう、施設出入口扉のついた防災ボックスを設置しています。(防災ボックスは、震度5弱以上の揺れを感知して自動で開錠します)

地震の揺れを感じた時は、シェイクアウトで揺れから身を守ってください。揺れが収まったら周囲の状況を確認して、命を守るために以下の避難行動をとってください。

- ・緊急避難場所に避難する
- ・安全な親戚・知人宅、ホテル・旅館等の自主的な避難先に避難する

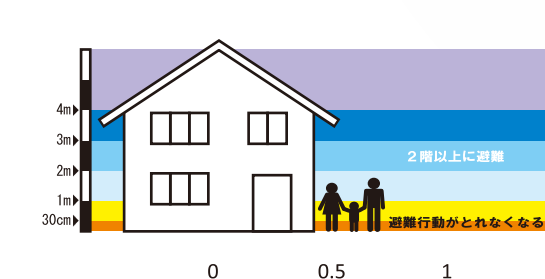
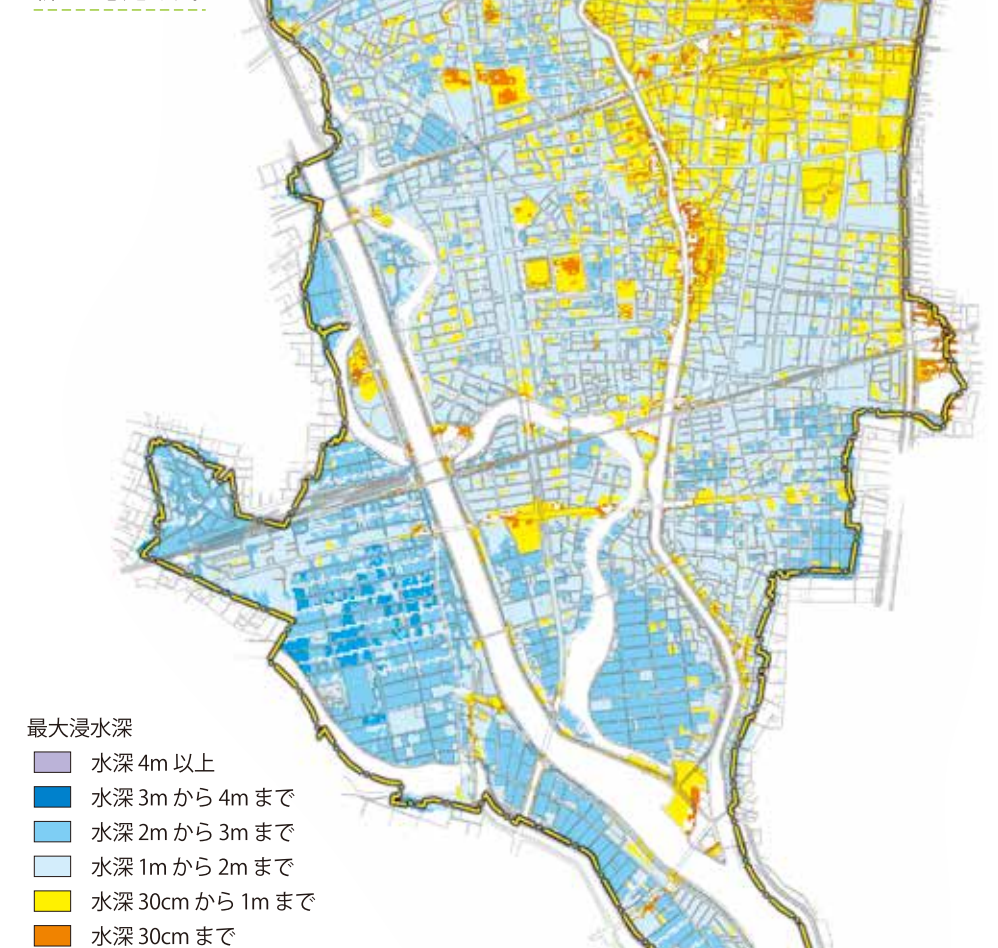
- ・自宅・施設等の浸水しない上階へ移動する
- ・自宅・施設等の浸水しない上層階に留まる

・自宅・施設等の少しでも液状化に高い場所・緊急的に移動したり、
近隣の相対的に高い堅牢な建物等に緊急的に移動する

磐江町は、ほぼ全域で液状化の危険度が極めて高い地域です。
周囲が液状化・浸水等で避難場所への避難が困難な時は、自宅
等の施設の中で高いところへ移動して、命を守ってください。また、
津波の高さがどこまで来るのかを想定最大浸水深を基に確認して
おいてください。

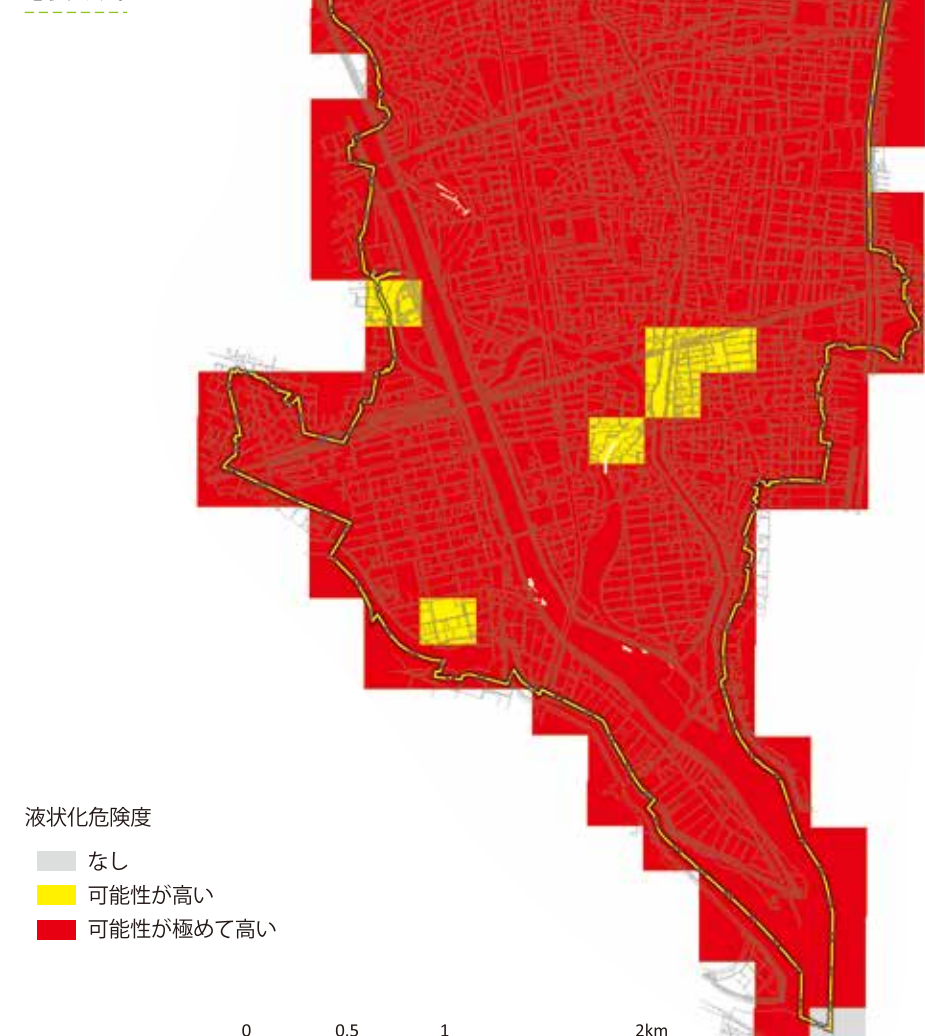
地震発生後12時間後の状況

地震発生から12時間後の、町内の浸水深の想定結果を示した図です。
河川からはなれたところでも、
広く浸水していることが
わかります。
せき上高を含む
新しい想定です。



地震発生後の液状化の状況

地震発生とともに町内のいたところで液状化が発生します。
窪地や段差があちこちに
できるかもしれません。
避難時には注意が
必要です。



南海トラフ想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合には、後発地震に備えて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表されます。

この「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表される、国からの指示があった場合には、「事前避難対象地域」では1週間を基準として避難を継続します。

この時、事前避難対象地域外の知人・親戚宅、宿泊施設等にご自身で避難していただきますが、町においても自主避難のための避難所を開設し受入れを実施します。
(この自主避難では、食事・寝具、その他の生活必需品等は、避難される方自身で用意をお願いします。町は、自主避難のための避難所を提供するのみとなります。)

耐震、家具固定、備蓄品、津波基準水位の確認等から自宅等において屋内安全確保が可能な場合には、屋内安全確保による在宅避難も有効な避難手段となります。

南海トラフ地震発生

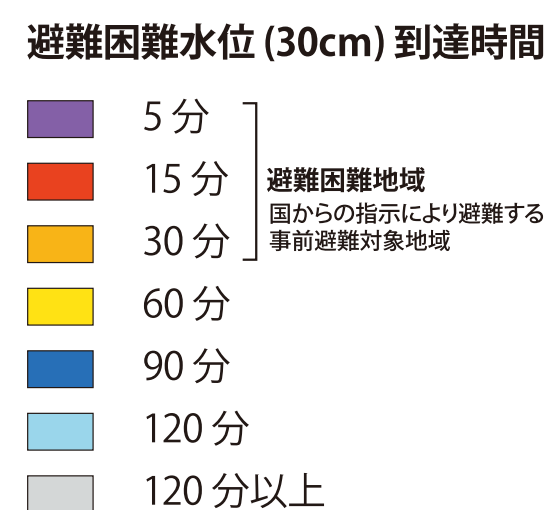
↓ (巨大な後発地震の可能性が高いと判断)

「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」発表

↓ (国からの事前避難の指示)

1週間を基準として事前避難対象地域外へ避難

十分な対策の下に屋内安全確保による在宅避難



津波浸水想定区域の中でも避難が困難となる
30cm以上の浸水が30分以内に生じる地
域は、特に対策、心構え等が必要な地域です。こ
の地域が避難困難地域として「事前避難対象地
域」とされました。

南海トラフ地震理論上最大モデルの被害想定

蟹江町浸水津波避難ハザードマップ

Kanie Town Flooded Tsunami Evacuation Hazard Map

いざという時に備え、日頃から避難場所や避難ルートなど確認しておきましょう。

【蟹江町防災情報メール(気象情報・防災情報)】【防災情報アプリ】

町民等の皆さんが防災情報を受け取れるよう、携帯電話やパソコン・様々な防災情報をメールで配信するサービスです。登録は無料です。ぜひご利用ください。

コードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

コードを読み取ってスマートフォンでアプリ「Hazard(ハザードン)」をインストールすると、防災情報が受け取れます。

iOS用 Android用

コードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

コードを読み取ってスマートフォンでアプリ「Hazard(ハザードン)」をインストールすると、防災情報が受け取れます。

【お役立ち情報】 災害情報を自ら収集し、危険を感じたときは自主的に避難してください。

蟹江町HP 大瀬川・流川(事務所) 気象庁HP 日本気象協会 愛知県川の防災情報 国土交通省リアルタイム河川状況情報 日本道路交番情報 センズ 東海旅客鉄道(JR東海) 近畿日本鉄道 中部電力停電情報

【同報無線】 放送内容を聞き流したときは…自動応答電話サービス

同報無線ダイヤル TEL 0567-96-6506 このダイヤルで、同報無線の放送を聞き流すことが出来ます。(通話料がかかります)

サイレンが聞こえたら「避難行動をとってください」

警戒レベル4(避難指示)以上の避難情報は、防災行政無線から「サイレン(警報音)」でお知らせします。

【災害用伝言サービス「171」&「web171」】

NTTの災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。【災害用伝言ダイヤル171】利用ガイドラインにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法 伝言の再生方法

家族等の安全がインターネット上で確認できる。【災害用伝言板web171】画面の指示によりご利用ください。

多言語でご覧いただけます。アプリをダウンロードしてお使いください

Available in multiple languages, please download the app and use it

蟹江町役場 安心安全課 TEL 0567-95-1111 (代表)

7 我が家の防災メモ

Disaster prevention memo of my home

地震の揺れを感じたら 少しでも早く、できるだけ高いところに避難しましょう！

南海トラフ地震発生時に使用する避難場所などを確認しよう！

家族の行動計画表

なまえ	ふだんよくいるところ	緊急避難場所	集合同所	連絡先
蟹江 太郎	会社	△△ビル	〇〇小学校	090-0000-0000

マップの利用方法について How to use the map

STEP 1 自宅や学校、職場の位置と、浸水状況・津波開始時間などを確認しよう。また、町全体で想定される被害状況も確認しよう。

STEP 2 自宅や学校、職場など普段よくいる場所から最も近い避難場所を確認しよう。

STEP 3 もし、夜間に地震が発生しても迷わずに避難場所まで歩いて、浸水開始時間を見まえて、避難場所までの避難路を決めておきましょう。

STEP 4 実際に避難路を歩いて、危険箇所など気づいたことをマップに書き込んでみましょう。

1 蟹江町ってどんなところ？

What kind of place is Kanie town ?

特徴・特性 Features and characteristics

蟹江町は、愛知県の西部に位置し、東は名古屋市、北は津島市、あま市、西は愛西市、南は弥富市に接しています。

町内には蟹江川・佐屋川・日光川・善太川・福田川・大瀬川が南北に流れています。

人口は 36,762人 (令和 7 年 7 月 1 日現在) で行政総面積の11.09 平方キロメートル全域が**海拔0メートル以下**の蟹江町は、大小の河川面積が総面積の5分の1を占める地域特性をもっています。

想定される被害 Expected damage

平成 26 年 5 月に愛知県が発表した調査結果 (愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書) によると、南海トラフ地震が発生した場合、蟹江町では最大で**震度 6 強**の揺れが発生するとされています。

	【建物被害】全壊・焼失棟数				【人的被害】死者数	
	揺れ	液状化	浸水津波	火災	建物倒壊	浸水津波
理論※1	約 1,600 棟	約 200 棟	約 1,200 棟	約 600 棟	約 90 人	約 600 人
過去※2	約 300 棟	約 200 棟	約 50 棟	—	約 10 人	約 20 人

※1 理論上最大モデル 「命を守る」という観点で、あらゆる可能性を考慮した、千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度の低い地震・津波を想定したモデル。

※2 過去最大モデル 南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいものを重ね合わせたモデル。

蟹江町に津波が川をさかのぼって到達するのは、地震が発生してから**約90分後以降**です。

地震の揺れによる被害とともに、みなさんが注意しなければならないのは、川の堤防が決壊することによって起きる**浸水被害**です。

浸水被害はどのようにしておきるのでしょうか？ 右のページで確認してみましょう。

2 どうして浸水被害がおきるの？

Why do flooding occur?

浸水被害発生メカニズム Mechanism of flood damage occurrence

地震が発生すると、道路にヒビが入ったり、建物が壊れたりします。しかし、地震により被害を受けるのは道路や建物などの目に見えるものだけではなく、

地震により地面に強い振動が加わると、地盤の沈下とともに、**液状化現象**が発生します。これは堤防の内部も例外ではなく、堤防内部が液状化すると、強度が低下し盛土の荷重を支えきれなくなり**堤防が破壊**してしまいます。これにより町内に川の水が流れこんでしまうのです。

避難行動の判断フロー図 Figure of evacuation action judgment flow

地震が発生したときの状況に応じて、避難の仕方が異なります。下記のフロー図を参考に、避難の仕方を考えてみましょう。

避難する場所については裏面の地図を確認してみましょう。

避難する場所については裏面の地図を確認してみましょう。

3 浸水津波に備えよう！

Get ready for a flooded tsunami!

平常時

地震発生

避難の時

堤防破壊で浸水

津波による河川の水位上昇

家の中の安全対策 家具の固定、避難路をふさがないレイアウト、ガラスの飛散防止を施し家の中で被災しないよう対策を講じましょう。

避難場所等の確認 自宅から、職場から、学校からの最寄りの避難場所・避難所・避難路も含めて平常時から家族で確認しておきましょう。

備蓄品の準備 災害が発生しても、すぐに支援物資が届くとは限りません。家族が7日間は過ごせるだけの物資を備蓄しておきましょう。

地域のコミュニケーション お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。

自分の身を守る 地震の揺れを感じたら、まずは落ち着いて自分の命を守ることを考えましょう。

揺れが収まってから行動する 揺れている最中に火を消そうとすると、火傷をしてしまうかもしれません。 ●火の始末 ●出口の確保

避難は徒歩が原則 家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。 また、多くの人が自動車避難してしまうと、渋滞や交通事故のおそれがあります。

地域での協力が大切 お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。

河川に近づかない 地震の後は、堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。

少しでも早く、高いところに逃げる 既に避難路が浸水している場合は、速くには逃げるのではなく、高いところに逃げましょう。最寄りの丈夫な建物のできる限り高いところに避難しましょう。

河川から離れる方向に逃げる 地震発生直後、堤防が破壊し時には水が流れ込みます。また蟹江町にやってくる津波は川をさかのぼってやってきます。避難のときは、川と垂直の方向に逃げましょう。

「安全な場所についたら、水が引くまで待機する。」 一度浸水すると、水が引くまでは時間がかかります。安全な場所に避難できたら、家に戻らず、その場で救助を待ちましょう。

5 いろいろな方法で情報を収集しましょう！

Collect information in a variety of ways!

町民への情報伝達経路 Information transmission route to townspeople

災害時には、以下のように情報が伝達されます。被害を最小限にとどめるには、正確でかつ新しい情報の入手が重要となります。

名古屋地方気象台

蟹江町

緊急地震速報 地震情報・津波予報 津波注意報・警報

緊急安全確保 災害発生又は切迫 直ちに命を守る最善の行動をとってください。

警戒レベル4 避難指示 災害の恐れ高い

各報道機関

テレビ ラジオ (FM ななみ) などの各メディア

町民のみなさま

同報無線 インターネットホームページ 広報車、電話、防災情報メールなどのあらゆる手段

避難に関する情報 Information about evacuation

災害の危険が迫り避難が必要になった場合には、避難に関する情報が発令されます。しかしこれらの情報はすべての世帯に適切なタイミングで発令することは困難です。

蟹江町では南海トラフ地震が発生すると同時に、堤防が破壊し浸水が始まることが予想されます。地震の揺れを感じたら、避難に関する情報が発令されていなくても、自ら判断し避難を開始することが大切です。地震・津波発生時には警戒レベルは適用しません。揺れを感じたらすぐ避難してください。

警戒レベル5 緊急安全確保 災害発生又は切迫 直ちに命を守る最善の行動をとってください。

警戒レベル4 避難指示 災害の恐れ高い 危険な場所から全員避難してください。避難行動が危険と判断される場合には、屋内安全確保を含めて直ちに命を守る最善の行動をとってください。南海トラフ地震により伊勢湾を含む太平洋沿岸に津波警報等が発表された場合、蟹江町全域に「避難指示(緊急)」を発令します。

警戒レベル3 高齢者等避難 災害の恐れあり 避難行動要支援者等避難に時間を要する方が避難を開始しなければならない段階。避難行動に支援が必要な方、避難に時間を要する方及び支援をされる方は、危険な場所から避難してください。通常の避難行動ができる方は、避難準備を整えてください。もしくは自主的に避難してください。

4 早めの避難を心がけましょう！

Let's keep early evacuation!

道路が浸水している時の注意点

運動靴で避難する 避難の際は長靴ではなく、履き慣れた運動靴を履いて避難しましょう。長靴を履いて避難すると、長靴の中に水が入り込み、避難行動の妨けになります。

足元を確認しながら行動する 避難路が浸水していると、道路上の危険箇所が正しく判断できない可能性があります。浸水した道路を歩くときは長い棒を杖代わりにして危険を確かめながら歩きましょう。

30cm以上の水深があると、歩いて避難するのが難しくなります。また、水深が深くても水の流れる速く避難場所へ行くのがかえって危険な場合は、最寄りの丈夫な建物のできる限り高いところに避難しましょう。

災害時避難行動要支援者登録制度 Disaster evacuation action supporter registration system

蟹江町では、災害が発生したときや災害のおそれがあるとき、自力で避難することが難しい高齢者や障がいをお持ちの方などに対して、災害(避難)情報の伝達や避難場所への誘導などの支援が必要な方を「災害時避難行動要支援者」として登録する制度を進めています。

対象となるのは、災害時に家族などの支援だけでは避難することができない、または家族などの支援が受けられない在宅の方で、右の①から⑦のいずれかに該当される方です。

① 65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯
② 介護保険における要介護度3以上の認定を受けている方
③ 身体に障がいのある方 (身体障がい者手帳1・2級をお持ちの方)
④ 知的障がいのある方 (療育手帳Aをお持ちの方)
⑤ 精神に障がいのある方 (精神障がい者保健福祉手帳1・2級をお持ちの方)
⑥ 難病をお持ちの方
⑦ その他支援が必要とされる方

※登録には申請が必要です。詳しくは、蟹江町ホームページをご確認ください。 https://www.town.kanie.aichi.jp/soshiki/9/saiga.html

災害時避難行動要支援者を災害から守るために、地域の皆さんで協力し助け合いましょう。